

WORKS OF KANEKO TAKAFUMI

機構による筆記	2
できごとのかたち展	10
珈琲茶	14
shinpakuzoo	16
あし算	18
肖像の空間	19
font city	20
はんぐるかな	22
言う／祭り／Typ。	24
DOCCHI	25
小説新聞	26
情デ卒	28
profile	30

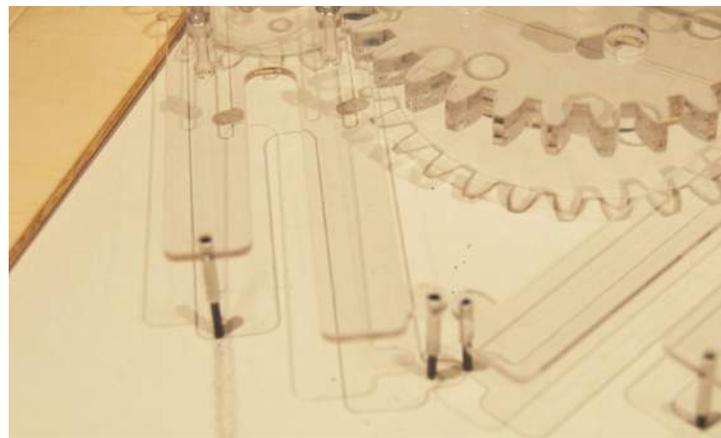
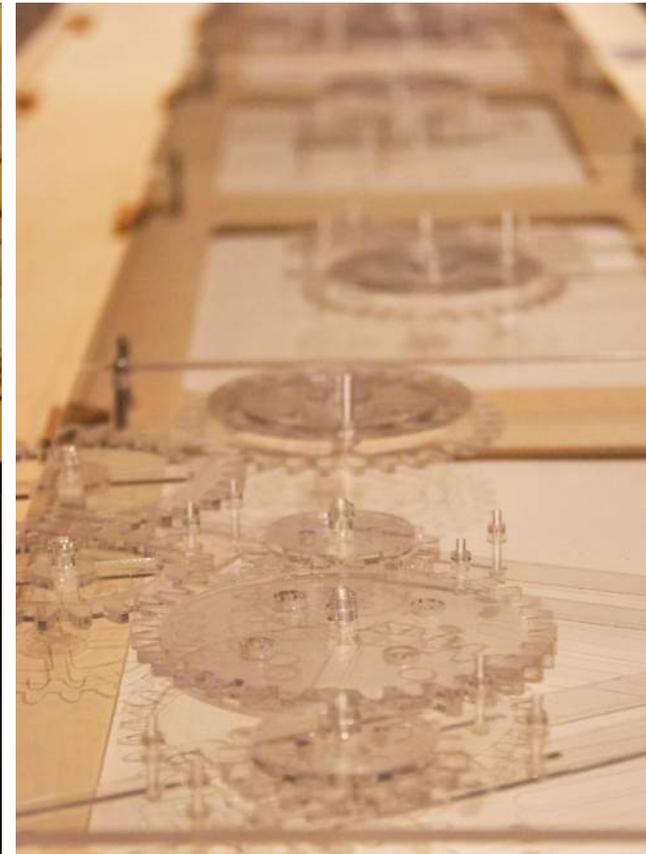
機構による筆記

「書く」を体感する

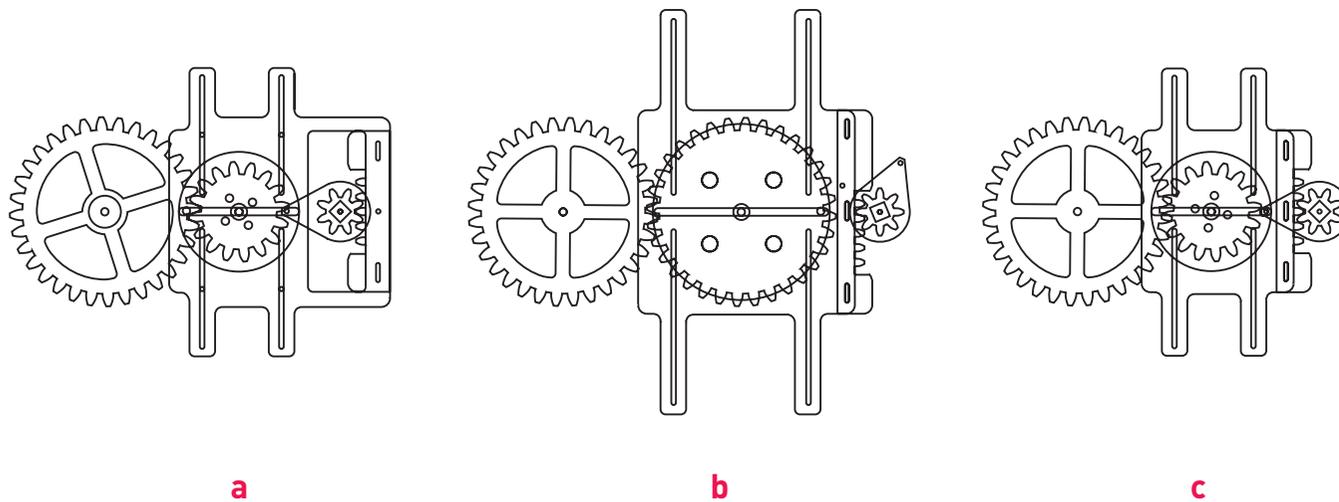
筆記と機構を題材にしたインスタレーション作品です。機構とは、工業製品を動かすための原理、目的を果たすまでの仕組みのことを指します。私たちの身の回りにある工業製品には、必ずこの機構が存在します。私は、機構という切り口から、筆記の成り立ちを表現しようと考えました。普段人の手によって行なわれる筆記という行為。私たちが文字を書くとき、文字の造形に意識を向けることはほとんどの場合ありません。私はそんな習慣化した筆記を、人の手ではなくアナログ機構を通して行なうことで、手書きでは気づかないような文字の持つ動きやルールを、体感できるのではないかと考え、制作を行いました。

作品形態：インスタレーション



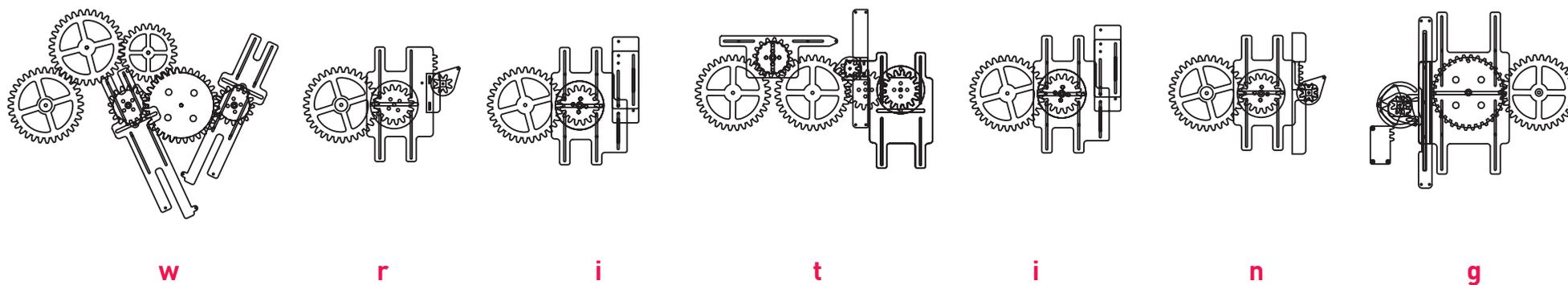


アルファベットの冒頭にある「abc」と、単語「writing」の計10文字の機構を制作しました。「writing」という単語は、鑑賞者に書いているということをより意識してもらうため、モチーフとして選びました。文字の機構は一つ一つがユニットとして独立しており、機構それぞれの取手を回すことで、機構に取り付けられた鉛筆の芯が、文字の軌道を反復し、筆記が行なわれる仕組みになっています。筆記が行なわれるまでの様子が見えるように、主な素材として透明アクリルを使用しています。



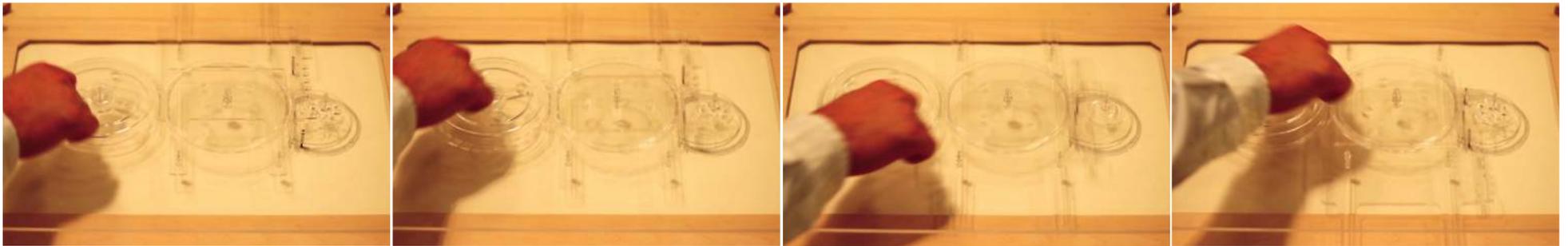
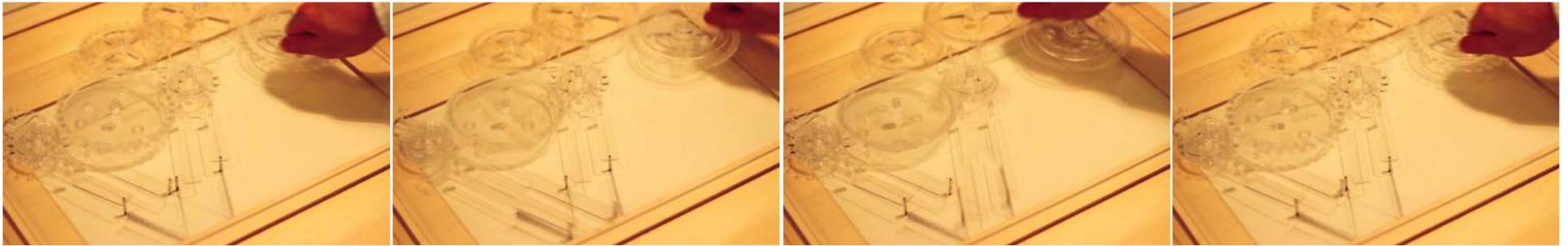
「abc」の機構

私たちは、線の長さや左右反転などの微妙な違いを瞬時に見分け、文字の読み書きを行なっています。この作品ではこのような差異を、ギアの噛み合う数やカムの可動域によって動的に視覚化しています。

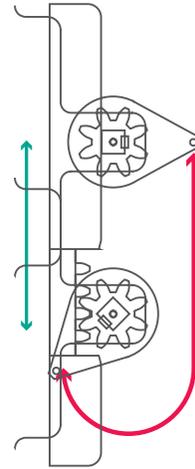
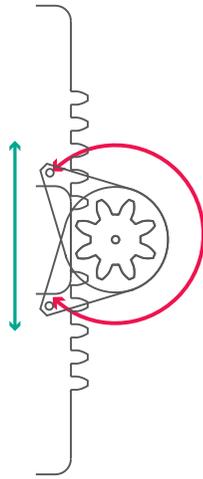
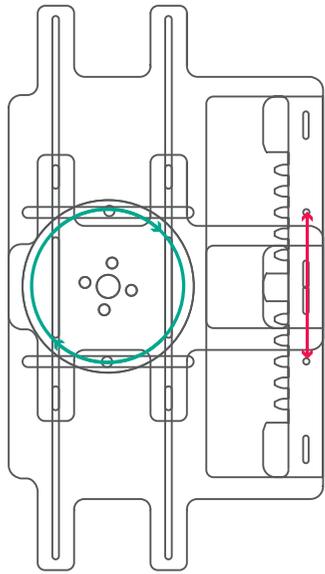


「writing」の機構

「書く」の現在進行系の意味を持つ「writing」。この短い単語のなかには、私が発見した機構のパターンがすべて含まれています。

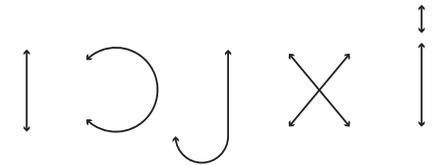
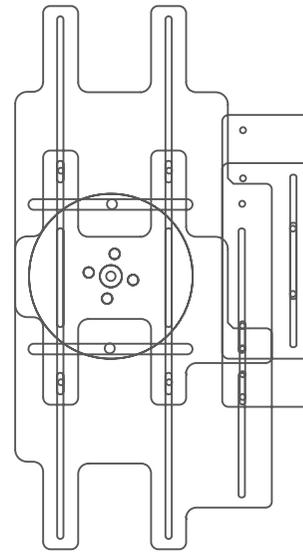
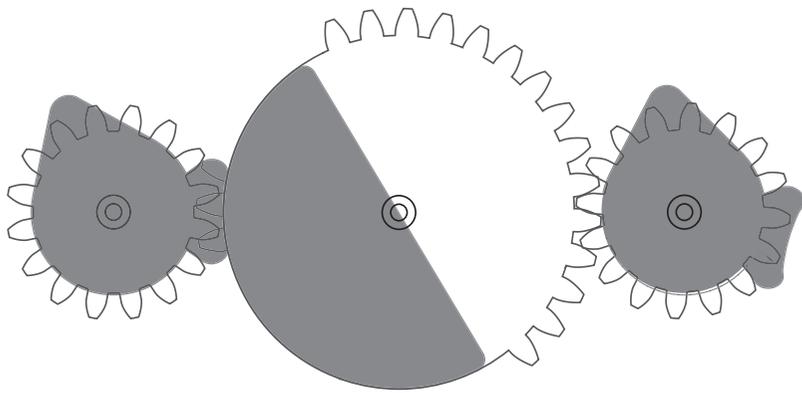


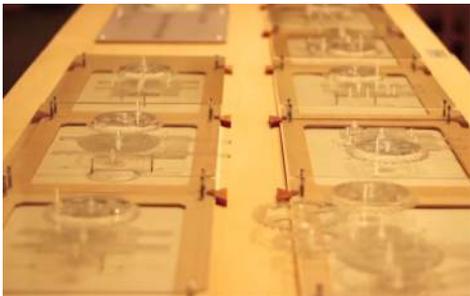
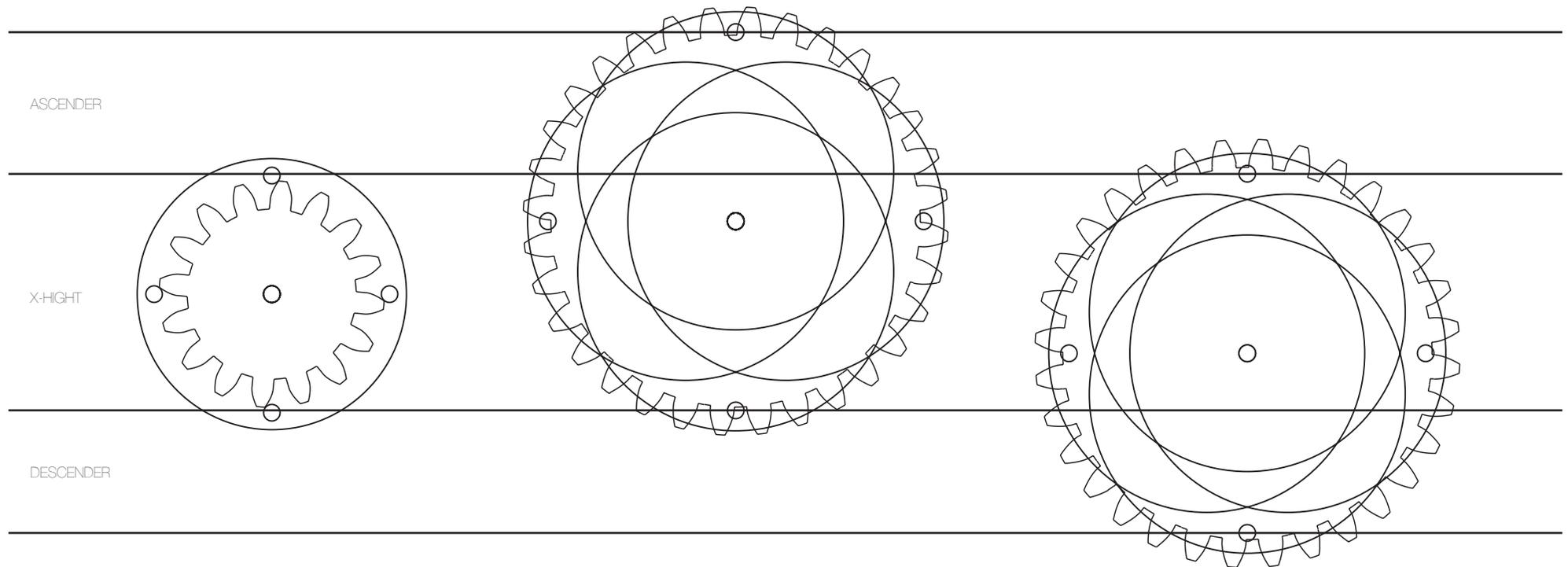




機構のパターン

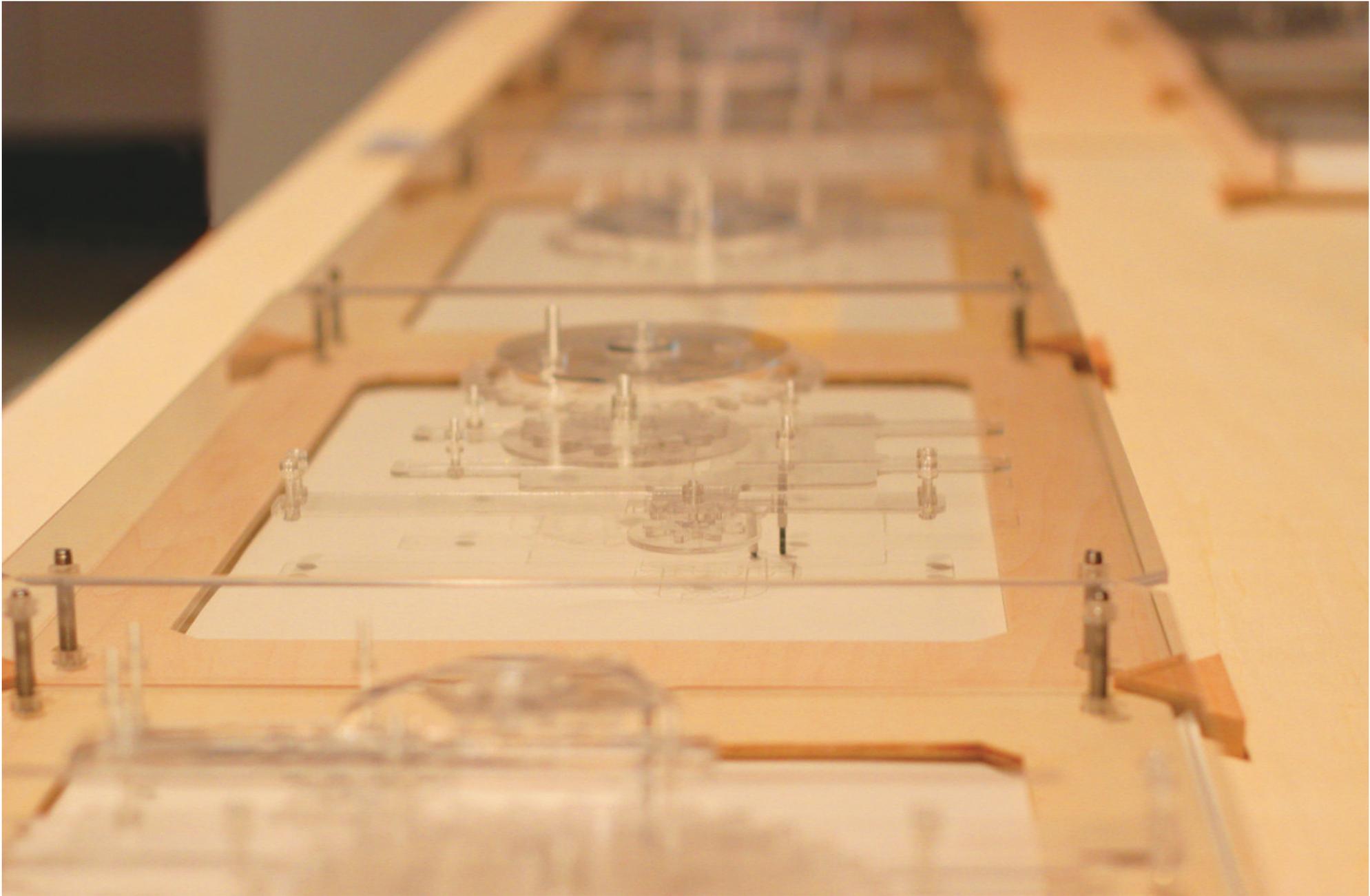
アルファベット(小文字)は、直線、円弧、直線+円弧の、3種類のラインで、すべての文字を構成することが出来ます。私は、それら3種類のラインに対応した機構と、「x」など辺同士が中心で交差する文字の筆記を可能にするための機構、「i」や「j」の2辺目の短いラインを書く機構の、計5パターンの機構の仕組みを考えました。これらの機構を組み合わせることで、アルファベットの筆記を実現することが出来ます。





カムの基準

アルファベットにアセンダー、エックスハイト、ディセNDERと幅があるように、カムの可動域にも形状に応じた幅が存在します。この作品では、それぞれの文字幅に対応したカムを三種類用意し、それを基準のカムとして使用しました。



できごとのかたち展

触れてもらい。知ってもらう

多摩美術大学情報デザインコース作品選抜展「できごとのかたち展」の展覧会設計と広報活動を行いました。広報班代表として、広報活動全体の指揮をとると共に、ロゴ、ポスター、パンフレットを制作しました。展覧会コンセプトである「触れてもらう。」をテーマに掲げ、情報デザイン学科をより多くの人に、知ってもらうためのディレクションを行いました。

制作物：展覧会ロゴ、ポスター、パンフレット





展览会ロゴ

“触れてもらう。”ことを想定としたロゴ

会場で触れてもらうことを想定し、デザインしたロゴです。7種類のパーツから成り立ち、これらのパーツは組み替えることでさまざまな文字やアイコンをつくる事が出来ます。会場では、実際に来場者の方にパーツを組んで遊んでもらうワークショップを行いました。



メインポスター

触感でのアプローチ

情報デザインコースやできごとのかたち展にまつわるワード、アイコンをパーツロゴで組み、その集合体をメインビジュアルとして扱いました。中心部にある『触れてもらう。』には、カラーサンドを用いた特殊加工を施し、「触れてもらう。」というコンセプトを触感的に表現しました。





パンフレット

作品に触れている感覚になる作品集

出展作品をすべて記載した作品集です。読んでいて触れている感覚になってもらうために、出展者本人が、作品に触れている写真を使用しました。この作品集は、アンケートと引き換えに配布し、入場時に配るリーフレットが作品集のカバーになる使用になっています。



かふえ 珈琲茶-cafe cha

ゆるめのコーヒータイム

新しいコーヒー体験をコンセプトに掲げ、グループでのリサーチ、ブレインストーミングを通し、若者のコーヒー離れを防ぐためにはどういった商品が世の中に求められているかを考え、企画へ至りました。珈琲茶は、若者がコーヒーよりも紅茶や緑茶などを好んで飲む傾向に注目し、お茶を飲む感覚で気軽にコーヒー体験をしてもらうのを目的に企画した商品です。商品化を目標に、味の研究からブランディングまでを行いました。

作品形態：商品開発、ブランディング





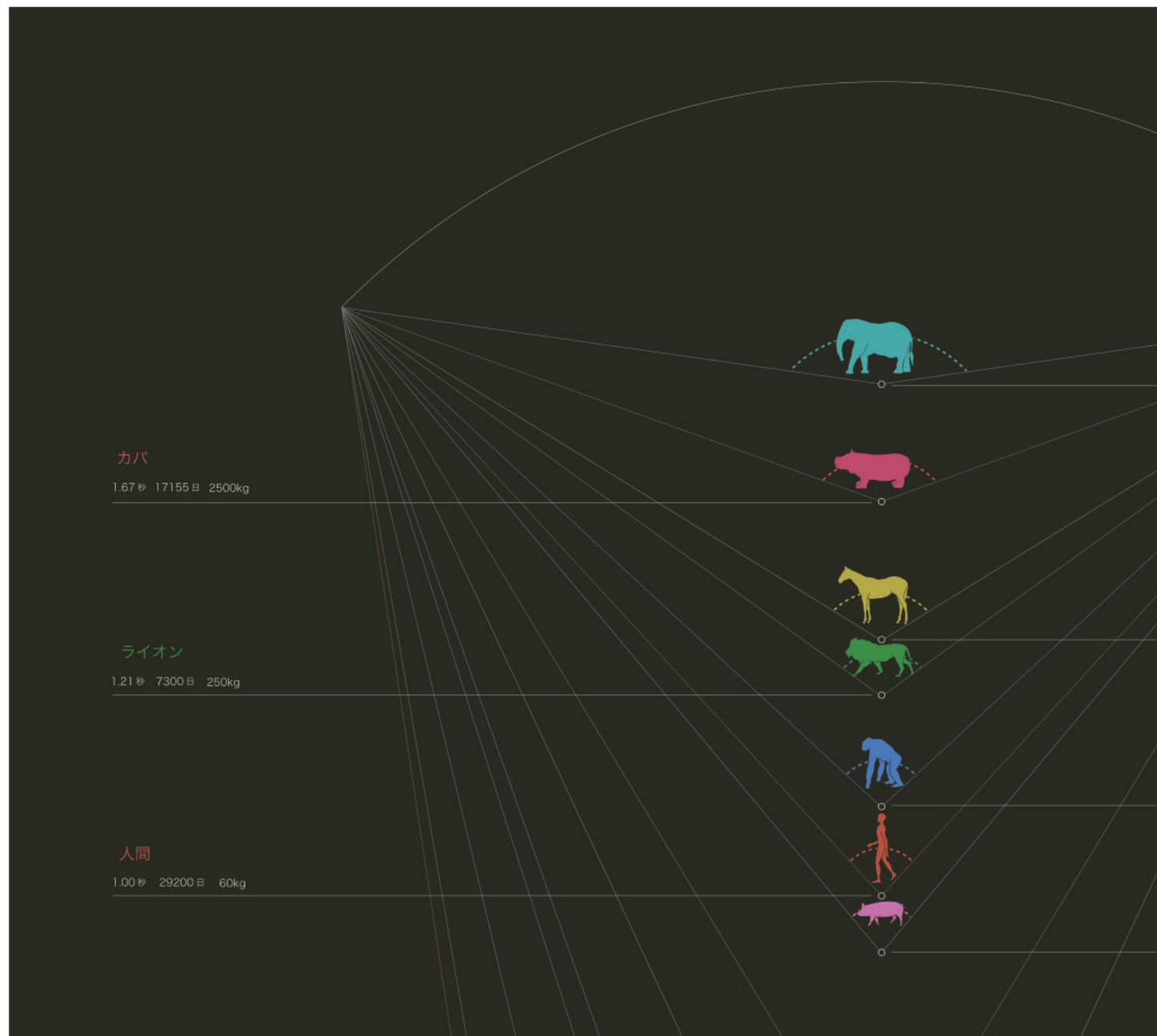
クローバーや自然の風景写真を広告とパッケージに起用することで、コーヒーに対しての「苦い」「濃い」「大人っぽい」などの潜的なイメージを払拭しようと試みました。

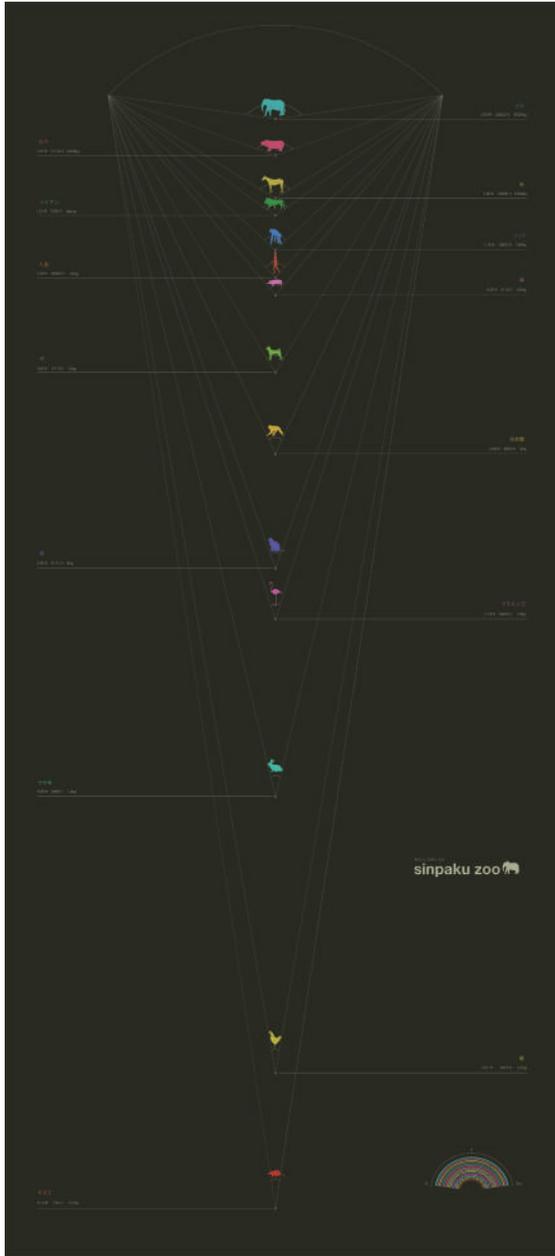
SHINPAKUZOO

視覚と聴覚で知ってもらう

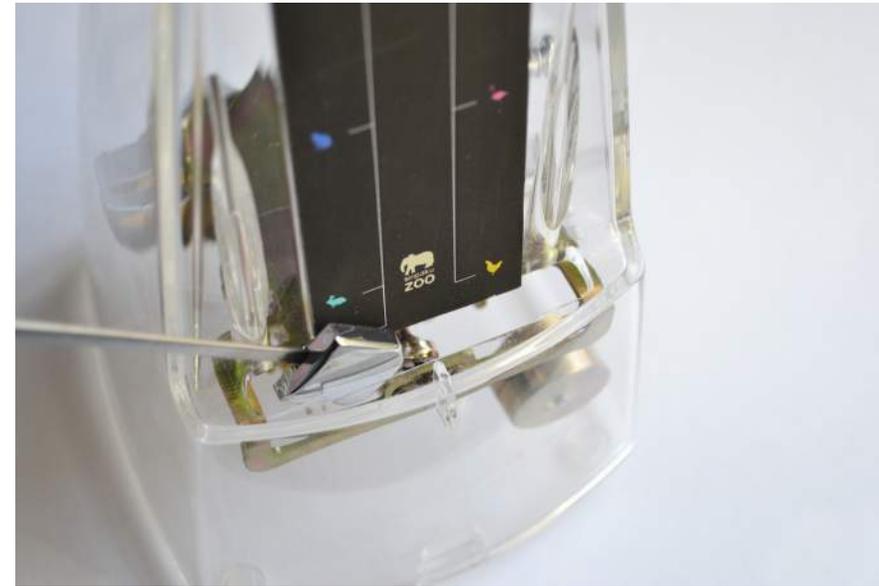
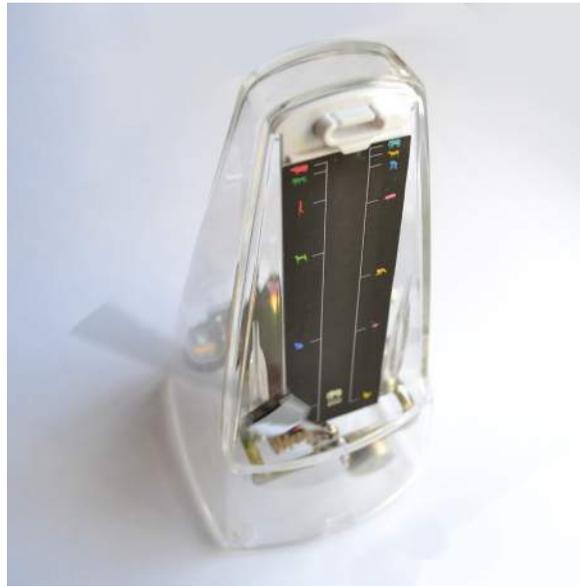
哺乳類の心周期の差を表現したインフォグラフィックスです。体重の違いによって心周期と感じる時の流れに違いがある哺乳類。私は、動物の心拍をメトロノームの振り幅に見立て、それをビジュアルに起こしたポスター（見る）と、メモリに工夫をしたメトロノーム（聴く）で表現しました。また、webコンテンツを制作し、ビジュアルと音の二つを動的に表現しました。

作品形態：インフォグラフィックス（ポスター、web コンテンツ）



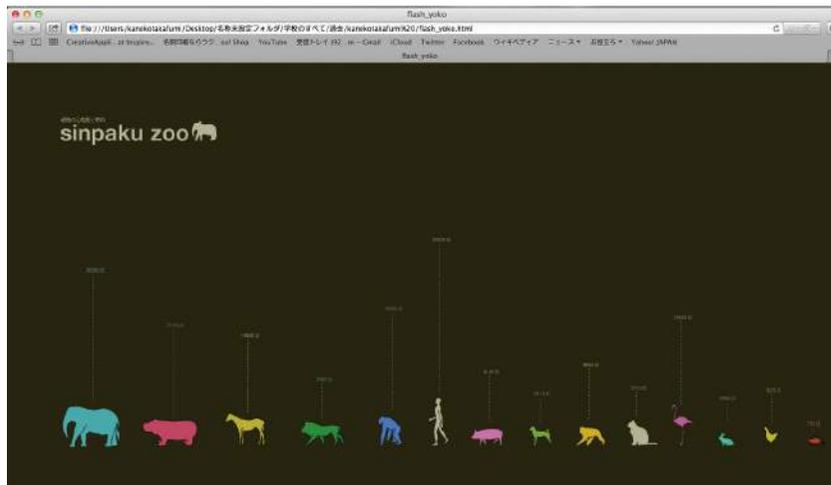


▲ポスター

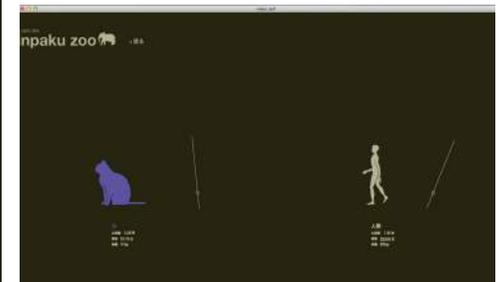


メトロノーム

動物の心周期に対応したメモリに、動物のアイコンを当て込めました。



◀ webコンテンツ

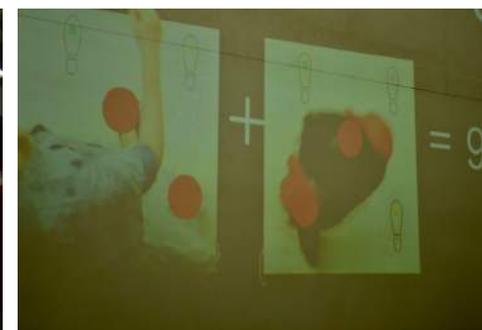
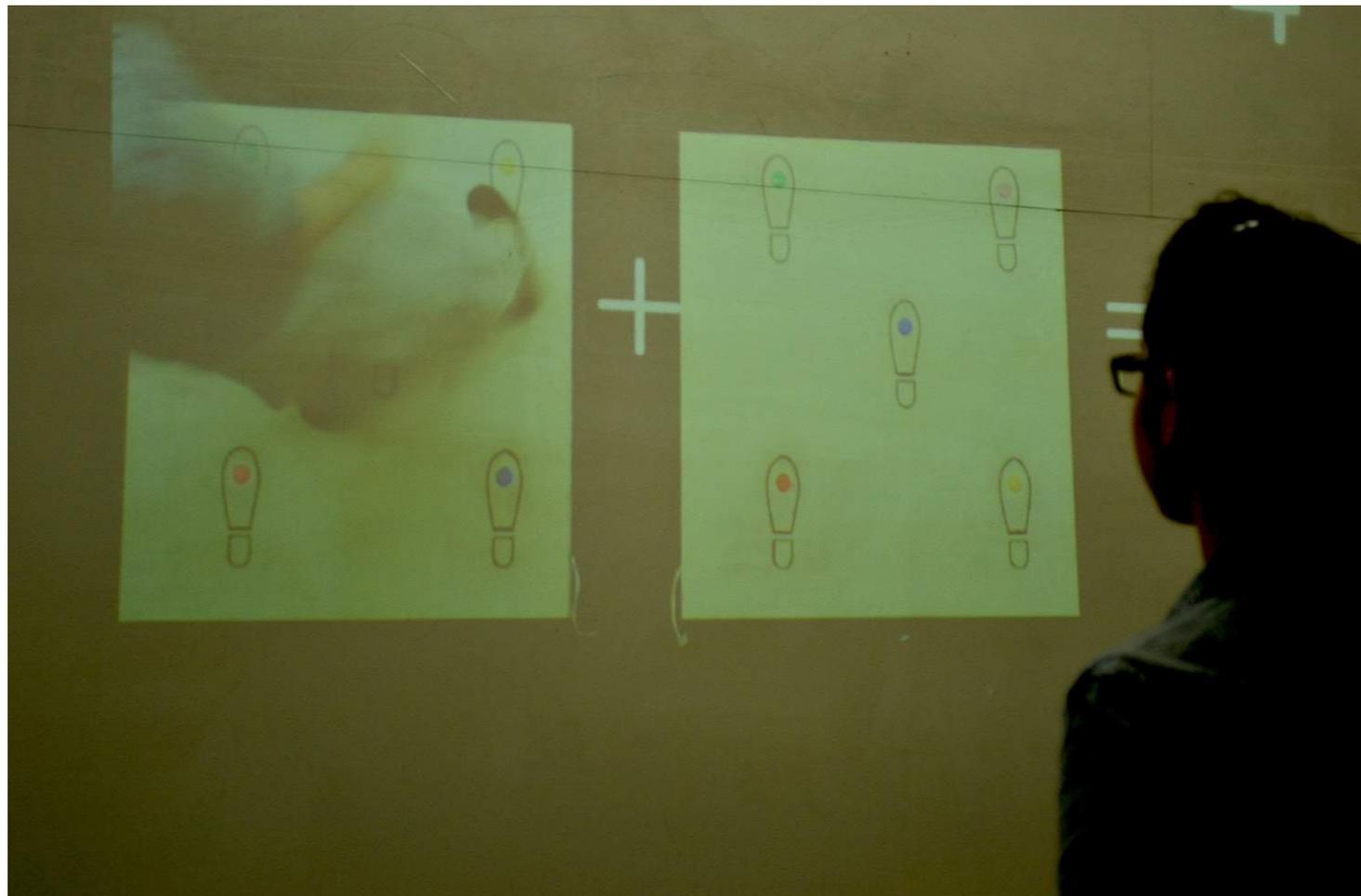


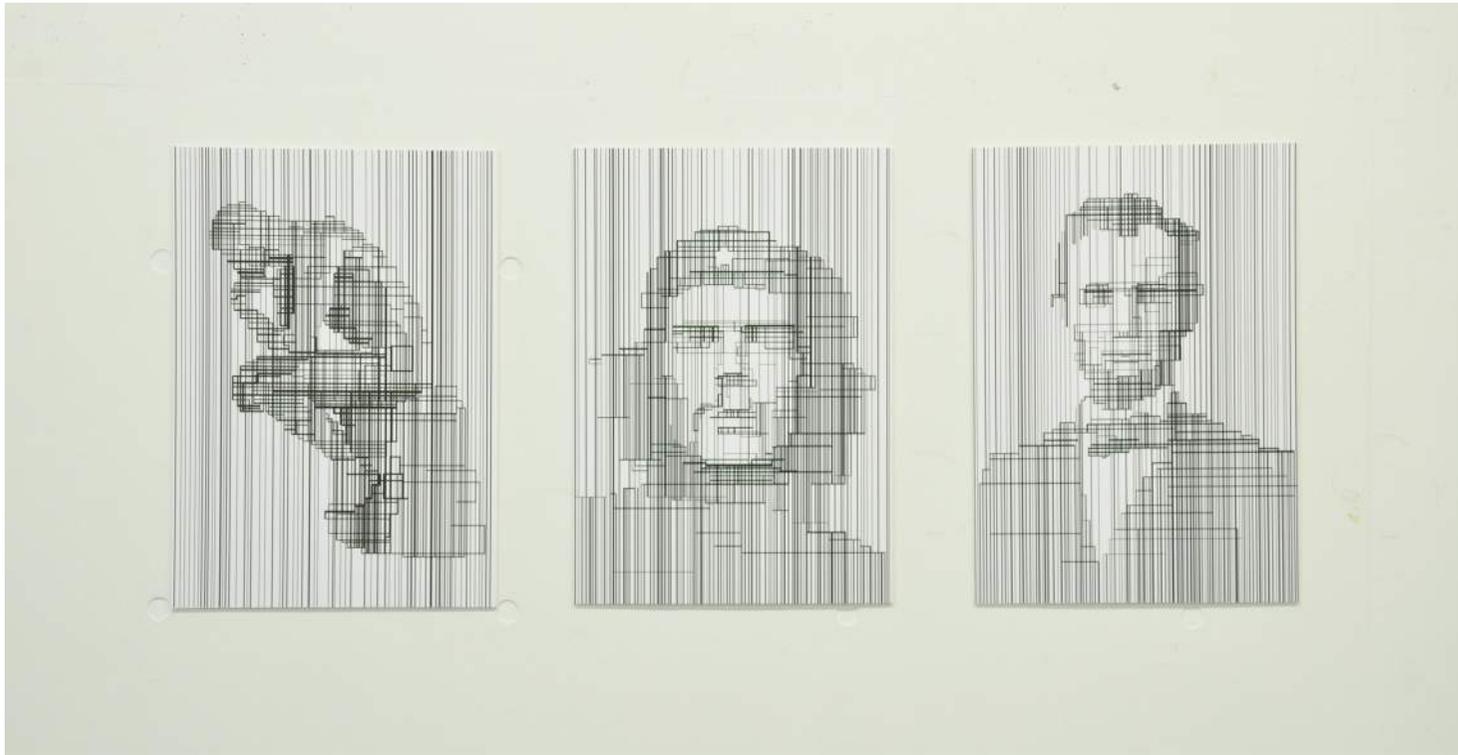
あし算

自分が「個数」になる学習コンテンツ

新しい小学生の学びをテーマに制作した、算数を楽しく学ぶための学習コンテンツです。 $\square + \square = 9$ といったような問題が出題され、webカメラとプロジェクターによって、リアルタイムで映し出された参加者が、「個数」となって答えを導き出すシステムになっています。参加者は、踏み台に取り付けられたボタンを踏むことで個数としてカウントされます。条件にあった数のボタンが踏まれることで、正解とみなされ、次の問題に切り替わります。問題は60秒の時間制限付きで、その間にどれだけ多くの正解をだせるかで成績がでます。

作品形態：インスタレーション、プロジェクションマッピング

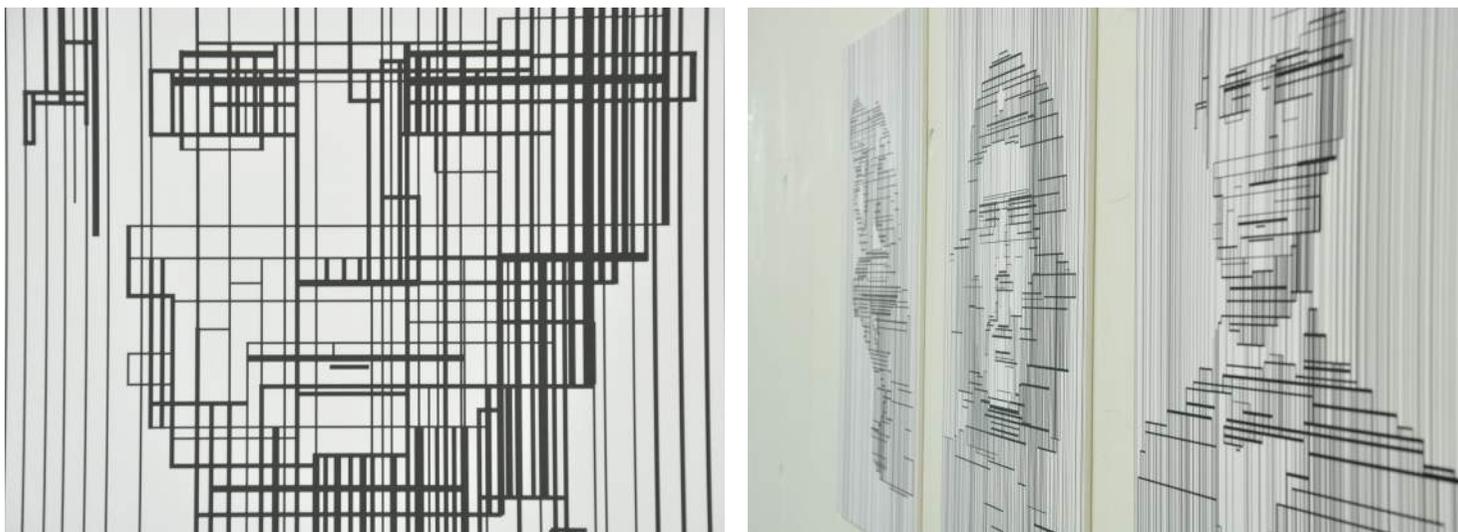




肖像の空間

平面による空間表現。

私は、チェ・ゲバラやリンカーンなどの肖像画から、独特の張りつめた空気感を感じることがあります。「肖像の空間」はそんな肖像画ならではの空気や、鑑賞者との距離感などを表現しようと思い、制作した作品です。遠くから見ると輪郭や陰影が強く感じる事ができ、近づくにつれて、直線や角が見え、硬質なイメージに変わって行きます。



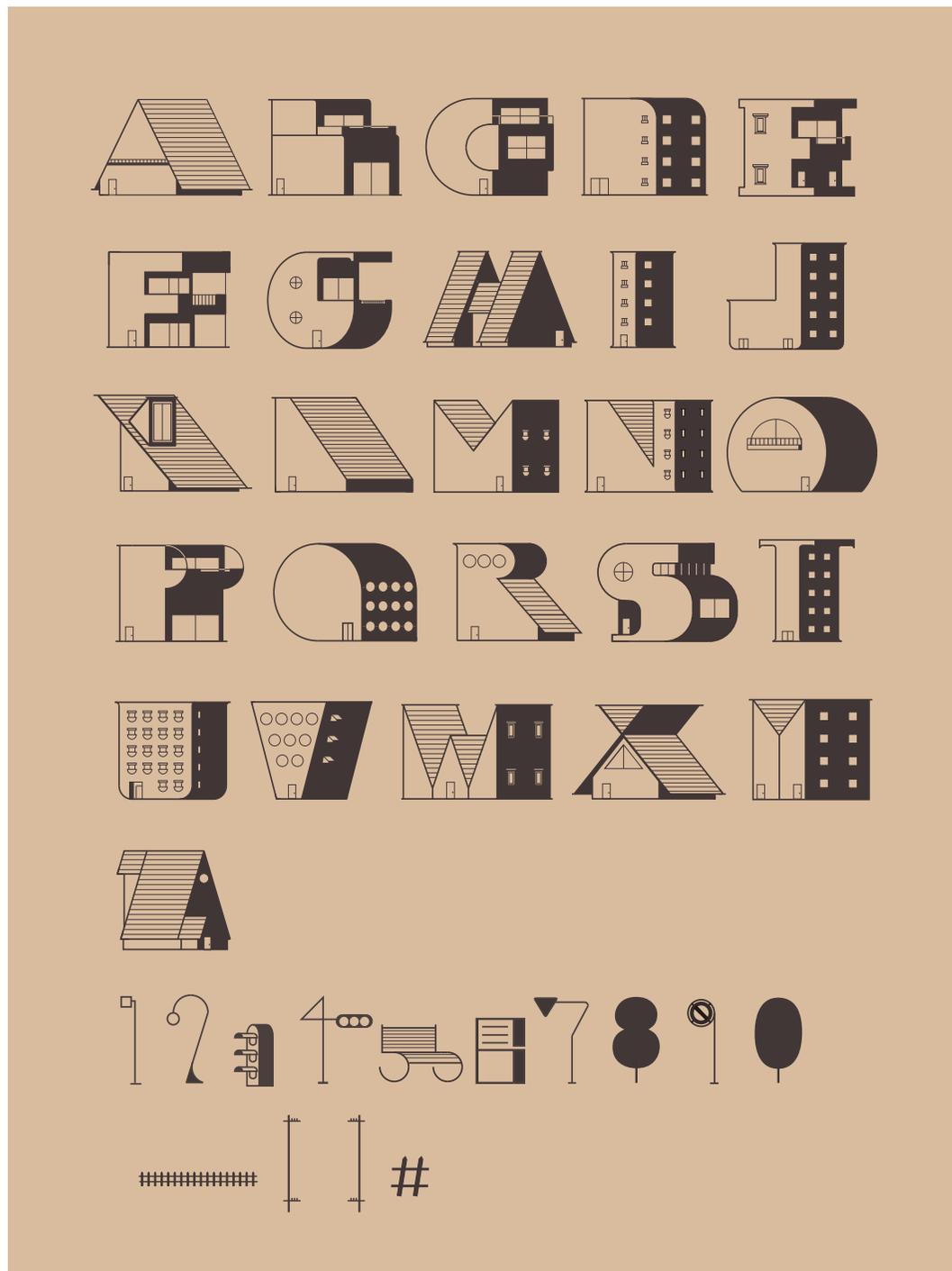
作品形態：インスタレーション、グラフィック作品

font city

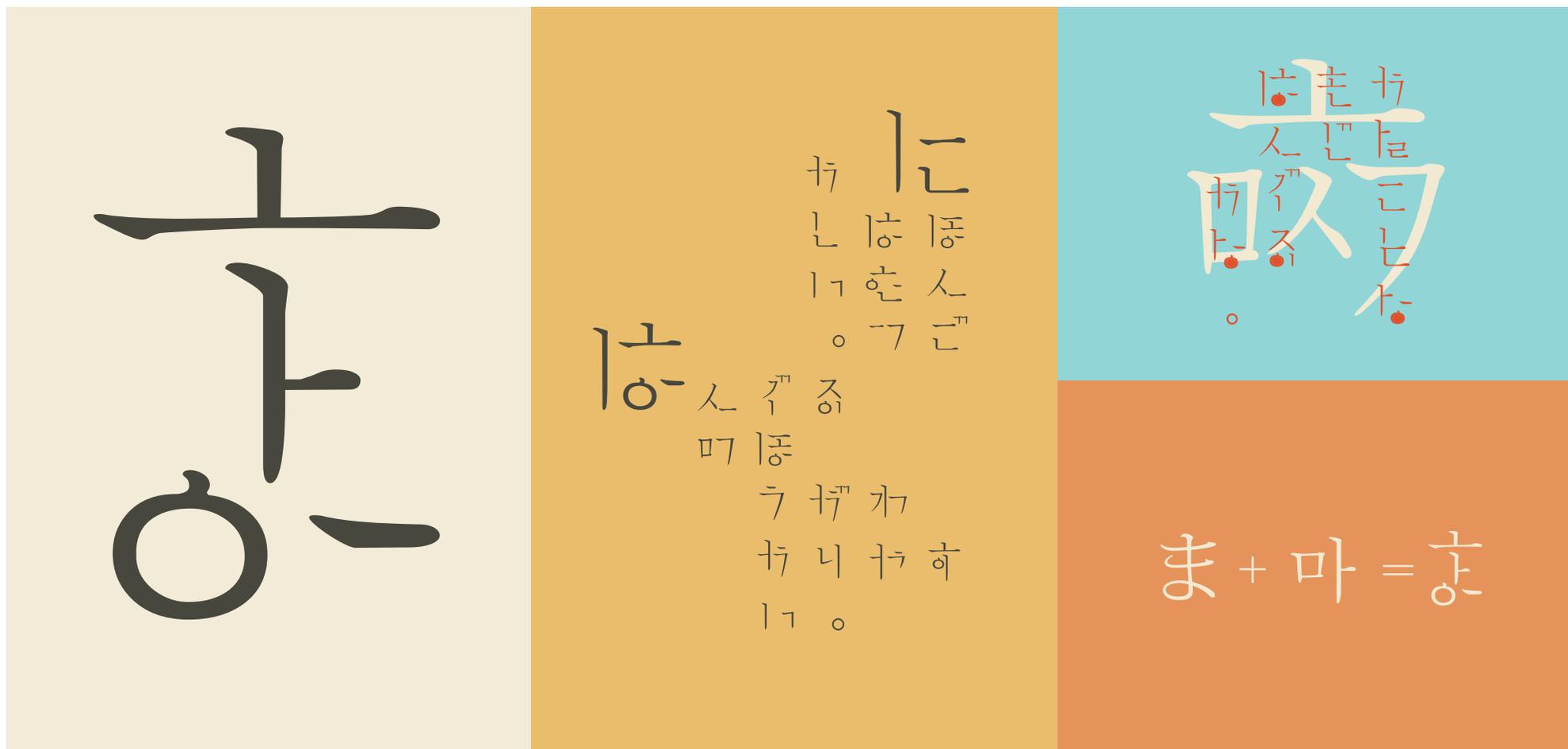
文章と共に街が出来る

「アルファベット」は、一つ一つはただの要素に過ぎず、集合することで初めて、文章や単語として意味を持ちます。また、街も「家」「ビル」「街灯」なしでは街と呼ぶことができません。font city は文章と街の本質が類似していることに注目し、制作したフォントです。font city で文をつづれば、そこには自然と街が形成されて行きます。

作品形態：タイポグラフィ







はんぐるかな

カタコトなひらがな書体

「はんぐるかな」は、ハングル文字の要素で構成された、仮名文字です。ハングル文字は世界の中でも最も新しい文字であると言われています。日本の仮名のように複雑な曲線は無く、幾何的な造形をしています。そんなハングル文字の要素を使い、ひらがなを再現するとどのような文字になる

のだろうか？という疑問から、制作に至りました。直角や直線の多いハングル文字でひらがなを作ろうとすると、どうしてもぎこちない形になります。そのぎこちなさは、「読みづらさ」につながり、読み手の脳の中では、留学生の話す日本語のような、かたことなりズムで再生されます。

作品形態：タイポグラフィ

가 나 다 호 호 호 호 호 호 호 호 호 호
글 니 주 간 니 주 리 간 리 리 리 리 리
스 즈 니 한 -호 맵 -크 하 구 우
가 리 맵 스 가 -도 분 바 처
즈 양 혼 흥 마 는 큰 고 양



図1-1

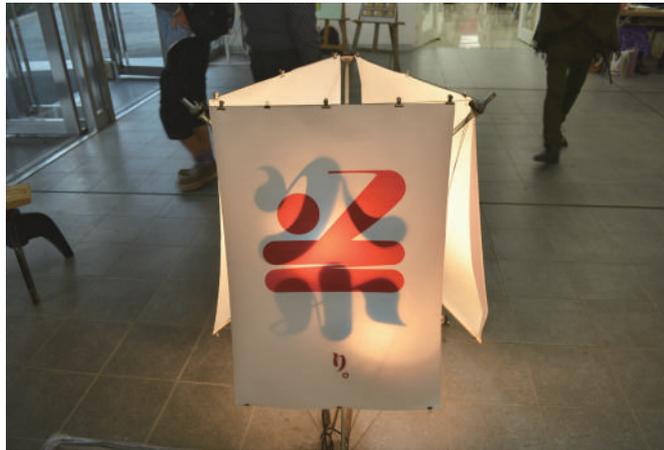


図1-2 | レンダリング



図1-3 | デジタルタイポグラフィ

言う / 祭り / Typ。

文字であそぶ

普段生活する上で、誰もが文字を目にします。
 これらの作品は、そんな文字に、ちょっとした
 遊び心を加えることで、その文字に新しい表情
 を見いだそうと試みた、タイポグラフィです。

—————

作品形態：タイポグラフィ

DOCCHI

free paper

take free
創刊号

free paper

take free
創刊号

DOCCHI

ウォーリー! vs ミツケ!



「ミツケ」と「ウォーリー」をさがせ!どっちが好き?

「ミツケ」と「ウォーリー」をさがせ!どっちが好き?

ウォーリーの表紙
ミツケの表紙

ミツケ!派はこっちから、ウォーリー派は裏から読んでね!

ウォーリー派はこっちから、ミツケ派から読んでね!

DOCCHI 創刊号 2019年11月

DOCCHI 創刊号 2019年11月

絵さがし絵本といえば、やっぱりミツケ!ですよ!

ミツケ!とは?

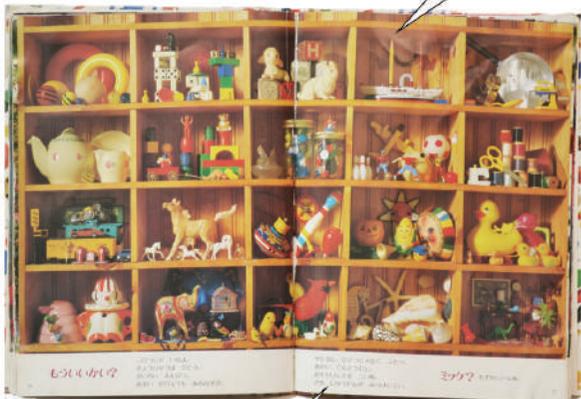
絵本・図鑑・雑誌など、あらゆるジャンルにわたって、絵さがし絵本を出版しています。2019年11月の創刊号からは、絵本・図鑑・雑誌など、あらゆるジャンルにわたって、絵さがし絵本を出版しています。2019年11月の創刊号からは、絵本・図鑑・雑誌など、あらゆるジャンルにわたって、絵さがし絵本を出版しています。

ミツケ!は何ででも楽しめる

「絵本・図鑑・雑誌など、あらゆるジャンルにわたって、絵さがし絵本を出版しています。2019年11月の創刊号からは、絵本・図鑑・雑誌など、あらゆるジャンルにわたって、絵さがし絵本を出版しています。」

ミツケ!のジャンル

「絵本・図鑑・雑誌など、あらゆるジャンルにわたって、絵さがし絵本を出版しています。2019年11月の創刊号からは、絵本・図鑑・雑誌など、あらゆるジャンルにわたって、絵さがし絵本を出版しています。」



LOOK!!

LOOK!!

実際にやってみよう!

選ぶなら、断然、ウォーリーをさがせ!です。

新ウォーリーのえほん

ウォーリーのなかまたち

パリエーションに基いた「ミツケ!」シリーズ

1. 絵さがし絵本

2. 図鑑

3. 雑誌

4. 絵本

5. 図鑑

6. 雑誌

7. 絵本

8. 図鑑

9. 雑誌

10. 絵本

11. 図鑑

12. 雑誌

13. 絵本

14. 図鑑

15. 雑誌

16. 絵本

17. 図鑑

18. 雑誌

19. 絵本

20. 図鑑

21. 雑誌

22. 絵本

23. 図鑑

24. 雑誌

25. 絵本

26. 図鑑

27. 雑誌

28. 絵本

29. 図鑑

30. 雑誌

31. 絵本

32. 図鑑

33. 雑誌

34. 絵本

35. 図鑑

36. 雑誌

37. 絵本

38. 図鑑

39. 雑誌

40. 絵本

41. 図鑑

42. 雑誌

43. 絵本

44. 図鑑

45. 雑誌

46. 絵本

47. 図鑑

48. 雑誌

49. 絵本

50. 図鑑

51. 雑誌

52. 絵本

53. 図鑑

54. 雑誌

55. 絵本

56. 図鑑

57. 雑誌

58. 絵本

59. 図鑑

60. 雑誌

61. 絵本

62. 図鑑

63. 雑誌

64. 絵本

65. 図鑑

66. 雑誌

67. 絵本

68. 図鑑

69. 雑誌

70. 絵本

71. 図鑑

72. 雑誌

73. 絵本

74. 図鑑

75. 雑誌

76. 絵本

77. 図鑑

78. 雑誌

79. 絵本

80. 図鑑

81. 雑誌

82. 絵本

83. 図鑑

84. 雑誌

85. 絵本

86. 図鑑

87. 雑誌

88. 絵本

89. 図鑑

90. 雑誌

91. 絵本

92. 図鑑

93. 雑誌

94. 絵本

95. 図鑑

96. 雑誌

97. 絵本

98. 図鑑

99. 雑誌

100. 絵本

101. 図鑑

102. 雑誌

103. 絵本

104. 図鑑

105. 雑誌

106. 絵本

107. 図鑑

108. 雑誌

109. 絵本

110. 図鑑

111. 雑誌

112. 絵本

113. 図鑑

114. 雑誌

115. 絵本

116. 図鑑

117. 雑誌

118. 絵本

119. 図鑑

120. 雑誌

121. 絵本

122. 図鑑

123. 雑誌

124. 絵本

125. 図鑑

126. 雑誌

127. 絵本

128. 図鑑

129. 雑誌

130. 絵本

131. 図鑑

132. 雑誌

133. 絵本

134. 図鑑

135. 雑誌

136. 絵本

137. 図鑑

138. 雑誌

139. 絵本

140. 図鑑

141. 雑誌

142. 絵本

143. 図鑑

144. 雑誌

145. 絵本

146. 図鑑

147. 雑誌

148. 絵本

149. 図鑑

150. 雑誌

151. 絵本

152. 図鑑

153. 雑誌

154. 絵本

155. 図鑑

156. 雑誌

157. 絵本

158. 図鑑

159. 雑誌

160. 絵本

161. 図鑑

162. 雑誌

163. 絵本

164. 図鑑

165. 雑誌

166. 絵本

167. 図鑑

168. 雑誌

169. 絵本

170. 図鑑

171. 雑誌

172. 絵本

173. 図鑑

174. 雑誌

175. 絵本

176. 図鑑

177. 雑誌

178. 絵本

179. 図鑑

180. 雑誌

181. 絵本

182. 図鑑

183. 雑誌

184. 絵本

185. 図鑑

186. 雑誌

187. 絵本

188. 図鑑

189. 雑誌

190. 絵本

191. 図鑑

192. 雑誌

193. 絵本

194. 図鑑

195. 雑誌

196. 絵本

197. 図鑑

198. 雑誌

199. 絵本

200. 図鑑

201. 雑誌

202. 絵本

203. 図鑑

204. 雑誌

205. 絵本

206. 図鑑

207. 雑誌

208. 絵本

209. 図鑑

210. 雑誌

211. 絵本

212. 図鑑

213. 雑誌

214. 絵本

215. 図鑑

216. 雑誌

217. 絵本

218. 図鑑

219. 雑誌

220. 絵本

221. 図鑑

222. 雑誌

223. 絵本

224. 図鑑

225. 雑誌

226. 絵本

227. 図鑑

228. 雑誌

229. 絵本

230. 図鑑

231. 雑誌

232. 絵本

233. 図鑑

234. 雑誌

235. 絵本

236. 図鑑

237. 雑誌

238. 絵本

239. 図鑑

240. 雑誌

241. 絵本

242. 図鑑

243. 雑誌

244. 絵本

245. 図鑑

246. 雑誌

247. 絵本

248. 図鑑

249. 雑誌

250. 絵本

251. 図鑑

252. 雑誌

253. 絵本

254. 図鑑

255. 雑誌

256. 絵本

257. 図鑑

258. 雑誌

259. 絵本

260. 図鑑

261. 雑誌

262. 絵本

263. 図鑑

264. 雑誌

265. 絵本

266. 図鑑

267. 雑誌

268. 絵本

269. 図鑑

270. 雑誌

271. 絵本

272. 図鑑

273. 雑誌

274. 絵本

275. 図鑑

276. 雑誌

277. 絵本

278. 図鑑

279. 雑誌

280. 絵本

281. 図鑑

282. 雑誌

283. 絵本

284. 図鑑

285. 雑誌

286. 絵本

287. 図鑑

288. 雑誌

289. 絵本

290. 図鑑

291. 雑誌

292. 絵本

293. 図鑑

294. 雑誌

295. 絵本

296. 図鑑

297. 雑誌

298. 絵本

299. 図鑑

300. 雑誌

301. 絵本

302. 図鑑

303. 雑誌

304. 絵本

305. 図鑑

306. 雑誌

307. 絵本

308. 図鑑

309. 雑誌

310. 絵本

311. 図鑑

312. 雑誌

313. 絵本

314. 図鑑

315. 雑誌

316. 絵本

317. 図鑑

318. 雑誌

319. 絵本

320. 図鑑

321. 雑誌

322. 絵本

323. 図鑑

324. 雑誌

325. 絵本

326. 図鑑

327. 雑誌

328. 絵本

329. 図鑑

330. 雑誌

331. 絵本

332. 図鑑

333. 雑誌

334. 絵本

335. 図鑑

336. 雑誌

337. 絵本

338. 図鑑

339. 雑誌

340. 絵本

341. 図鑑

342. 雑誌

343. 絵本

344. 図鑑

345. 雑誌

346. 絵本

347. 図鑑

348. 雑誌

349. 絵本

350. 図鑑

351. 雑誌

352. 絵本

353. 図鑑

354. 雑誌

355. 絵本

356. 図鑑

357. 雑誌

358. 絵本

359. 図鑑

360. 雑誌

361. 絵本

362. 図鑑

363. 雑誌

364. 絵本

365. 図鑑

366. 雑誌

367. 絵本

368. 図鑑

369. 雑誌

370. 絵本

371. 図鑑

372. 雑誌

373. 絵本

374. 図鑑

375. 雑誌

376. 絵本

377. 図鑑

378. 雑誌

379. 絵本

380. 図鑑

381. 雑誌

382. 絵本

383. 図鑑

384. 雑誌

385. 絵本

386. 図鑑

387. 雑誌

388. 絵本

389. 図鑑

390. 雑誌

391. 絵本

392. 図鑑

393. 雑誌

394. 絵本

395. 図鑑

396. 雑誌

397. 絵本

398. 図鑑

399. 雑誌

400. 絵本

401. 図鑑

402. 雑誌

403. 絵本

404. 図鑑

405. 雑誌

406. 絵本

407. 図鑑

408. 雑誌

409. 絵本

410. 図鑑

411. 雑誌

412. 絵本

413. 図鑑

414. 雑誌

415. 絵本

416. 図鑑

417. 雑誌

418. 絵本

419. 図鑑

420. 雑誌

421. 絵本

422. 図鑑

423. 雑誌

424. 絵本

425. 図鑑

426. 雑誌

427. 絵本

428. 図鑑

429. 雑誌

430. 絵本

431. 図鑑

432. 雑誌

433. 絵本

434. 図鑑

435. 雑誌

436. 絵本

437. 図鑑

438. 雑誌

439. 絵本

440. 図鑑

441. 雑誌

442. 絵本

443. 図鑑

444. 雑誌

445. 絵本

446. 図鑑

447. 雑誌

448. 絵本

449. 図鑑

450. 雑誌

451. 絵本

452. 図鑑

453. 雑誌

454. 絵本

455. 図鑑

456. 雑誌

457. 絵本

458. 図鑑

459. 雑誌

460. 絵本

461. 図鑑

462. 雑誌

463. 絵本

464. 図鑑

465. 雑誌

466. 絵本

467. 図鑑

468. 雑誌

469. 絵本

470. 図鑑

471. 雑誌

472. 絵本

473. 図鑑

474. 雑誌

475. 絵本

476. 図鑑

477. 雑誌

478. 絵本

479. 図鑑

480. 雑誌

481. 絵本

482. 図鑑

483. 雑誌

484. 絵本

485. 図鑑

486. 雑誌

487. 絵本

488. 図鑑

489. 雑誌

490. 絵本

491. 図鑑

492. 雑誌

493. 絵本

494. 図鑑

495. 雑誌

496. 絵本

497. 図鑑

498. 雑誌

499. 絵本

500. 図鑑

DOCCHI

どっちから読むかはあなたの自由

DOCCHIは、様々な分野の二大巨頭を取り上げ、「どっち派?」をテーマに二つのものを紹介するという内容のフリーペーパーです。このフリーペーパーに裏表紙は存在しません。両面に、取り上げた二つのもの(こと)にそれぞれ表紙を設け、読者がどちらか好きな面から読むことのできるページ構成にしました。世間一般にどちらが人気があるかアンケートを行い、中央ページでその結果が知れるようになっています。

作品形態: フリーペーパー、エディトリアルデザイン

小説新聞 short-short

短編小説に自由を

長編小説の流れを経て、単行本というメディアが主流となっている短編小説。果たして本当にこのメディアが短編小説に適しているのだろうか？そんな疑問から生まれたのが、小説新聞です。一つのページに多くの記事が混在する新聞というメディア。読者は自分の気になる記事から読む事が出来ます。また、気に入った記事があれば切り取って保管することも可能です。小説新聞は、そんな新聞ならではの特徴を活かした作りになっています。



作品形態：新聞、エディトリアルデザイン





小説新聞では、短編小説の一話一々を新聞の記事のように配置し、また一つの記事を切り取っても、裏面で物語が切れないようなレイアウトになっています。気になる記事から読む事ができ、好きな記事は切り取って保管する事ができる。新聞という形態を取る事で、読者へ選択の幅を与える事が出来ます。

情デ卒

情デの「今」と「その後」

多摩美術大学情報デザインコースの卒業生の活躍を紹介する冊子を制作しました。学生と教授、副手でチームを結成し、情デの「今」と、「その後」をテーマに、情報デザインコースを紹介するコースパンフレットと合わせてディレクションを行ないました。私は、情デ卒のエディトリアルデザインを中心に制作を行ないました。コースパンフレットと情デ卒は同じ規格で制作し、その二つに対して一つのカバーを設けて、配布をしました。



作品形態：小冊子、エディトリアルデザイン



金子嵩史

kaneko takafumi

1991年 東京生まれ

2009年 都立武蔵丘高等学校卒業

2010年 多摩美術大学入学

2011年 日本タイポグラフィ年鑑 2012 入選

2012年 できごのかたち展 2012 出品

産学協同プロジェクト

NESCAFE coffee experience 参加

2013年 できごのかたち展 2013 出品